

会議録

- 1 会議の名称 平成29年度第1回社会教育委員会議
- 2 開催日時 平成29年6月26日(月)午後7時00分～9時12分
- 3 開催場所 熊取交流センター(煉瓦館) 講義室A
- 4 議 題 案件1 平成28年度社会教育事業報告について
案件2 次期生涯学習推進計画について
その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 0人

7 審議等の概要

○案件1について

- ・平成28年度社会教育事業報告について、資料に基づき事務局から説明を行いました。

【委員からの主な意見、質問等と事務局の返答】

- ・事業報告の13ページ、「町民総合体育大会」(陸上競技の部)に参加される自治会の数が減少していることが課題となっていたと思うが、その方策はどうなっているのか。
→自治会の約半数が参加しており、ほぼ固定化されている。各種団体が存在していないということはあるかと思うが、自治会とは関係なく活動したいというところを惹きつけていく必要はあると思う
- ・こども読書活動が活発に行われており、文部科学大臣表彰をいただいた。図書館の活動のおかげである。
- ・BM(Book Mobile)の廃止もあって、図書の貸出し数が減少している。図書館の利用者数や登録者数は減少しているのではないか。図書館に近い中央小、北小学校区が通いやすいという傾向がある。西小学校区の人々は駅下のネット予約等を活用できる環境にある。しかし、東小、南小学校区については何らかの対策が必要ではない

か。

- ・図書館と如何につながりをもっていくか、という観点から「そとみせ」の役割も重要ではないか。
- 貸出数は減少しているところではあるが、登録者数は過去利用していた方の整理を行いつつも、ほぼ増減がない状態であり、一定の新規登録者数はいる状態と考えられる。利用者の高齢化により、一度に借りる冊数が減少しているのではと感じている。
- ・図書館は全体として新たなことに取り組んでいるという姿勢を感じている。
 - ・次期計画の策定を考える際には高齢化・人口減少の波があり、その傾向による見込みを考えていかなければならない。
 - ・「人材バンク」に関しては登録した時点で完結してしまってることが多い、それは他の地域でも同じであるが、そのような能力・意欲を持った人々をどのように活用していくかを社会教育委員会議を巻き込んで検討していただきたい。行政が情報をストックしてそこから活用するということには限界がある。それらを上手く活用する市民団体を形成していくことが肝要ではないか。

など

○案件2について

- ・次期生涯学習推進計画の設計について、
第3次生涯学習推進計画における重点施策の実施状況等について、
次期生涯学習推進計画に係るアンケート調査自由記述欄のまとめについて、
資料に基づき事務局から説明を行いました。

【委員からの主な意見、質問等と事務局の返答】

- ・(アンケート自由記述欄について) 全体的に「やっていることを知らなかった」等、広報が行き届いていないと感じるような声が多い、広報の手法を検討していただきたい。
- ・熊取ゆうゆう大学の入学案内について、パンフレット以外の周知も検討していただきたい。
- ・次期計画について、ソフト面にプラスしてハード面・人材面の部分の関係もある。ハード面は予算関係もあるので積極的に書けない部分もあると思うが、考え方

を示すのか示さないのかというところも検討いただきたい。

- ・公民館については、ウィークデイの参加者が多いと思うが、それ以外の日程はどうしていくのか。各施設で来訪者の年齢・地域というところは掴んでいるのか。また、職員の資質向上についての方策は（図書館以外は）あるのか。

以上のところを把握・検討した上で次期計画の実現性をまとめていただきたい。

→各施設の利用者数に関するクロス集計については解析結果ができあがり次第、委員にお示しする。施設についても意見が多いところであり検討していきたい。

- ・学校施設については補修等を進めていただいている。今後の社会教育施設との連携として、法律上可能かという部分は考慮しなくてはならないが、学校との連携ができる部分もあるのではないかな。
- ・子ども目線で考えると、例えば大阪体育大学等との世代間交流やグループ活動を考えていくことも重要である。
- ・昨年度から、町内の大学と町企画部及び関係部長との会議が開催され、町と大学の関係というのがあらためてオープンになってきた。広い視野で両者の連携で生まれたものを生涯学習フィードバックしていくのも良い。
- ・アンケート自由意見については、どの意見をピックアップしていくかが重要、クロス集計でどの部分を拾い上げていくかも参考になるのではないかな。
- ・5年前はスポーツ基本計画ができたところ、今後は各種計画等と整合性を見て進めていただきたい。
- ・自由意見をどのように捉えていくかが難しい。「高齢化」、「介護」というところにはじまり、「施設」に関する意見が多いと感じる。
- ・次期計画については、社会活動の変容（少子高齢化）を踏まえた課題設定が必要ではないかと考える。徒歩空間の中に地域や町とのつながりがあることが重要、例えば学校等が挙げられると思うが、そこにどのような人・ボランティアを置いていくか、PR活動も重要であるが、地域との情報をつなぐコンシェルジュのような存在も必要ではないかな。

など

○その他について

- ・次回会議の日程調整を行い、平成29年8月31日、午後7時からと決定しました。

8 会議の情報

名称	社会教育委員会議
根拠法令等	社会教育委員会議運営規則
設置期間	昭和57年4月1日～
所轄事項	教育委員会の社会教育に関する諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
委員数	9人

9 担当課

生涯学習推進課